

## 地球惑星科学実習帳2016版と各社教科書との対応及び地学基礎との関連

実習番号及び実習名		地学基礎との適合性	東書	実教	啓林	数研	第一
固体地球	1-1. 歩いて測る地球の大きさ	適合	○	○	◎	◎	○
	1-2. 作図による震源の決定	適合	◎	◎	○	○	○
	1-3. 走時曲線と地球内部の構造	発展的	発展	発展	発展	発展	発展
	1-4. シャドーゾーンと地球深部の構造	発展的	発展	発展	発展	発展	発展
	1-5. 演示 つるまきばねによる縦波と横波	発展的	発展	発展	発展	発展	発展
	1-6. 演示 地磁気を調べる	範囲外	×	発展	×	×	発展
	1-7. 演示 日本付近の震源分布の立体模型	適合	○	○	○	○	○
	1-8. 演示 世界の震源と火山の分布	適合	○	○	◎	○	○
岩石鉱物	2-1. 砂の観察	発展的	△	△	△	△	△
	2-2. 鉱物の性質	範囲外	×	×	×	×	×
	2-3. 火成岩の分類	適合	○	○	◎	◎	○
	2-4. 富士山の科学	発展的	△	△	△	△	△
	2-5. 演示 これだけは見せたい堆積岩・変成岩	適合	◎	◎	◎	○	○
	2-6. 演示 偏光による岩石薄片の観察	適合	◎	○	◎	○	◎
地史地質	3-1. 埼玉の地形	発展的	×	△	×	△	×
	3-2. 空中写真の立体視	範囲外	×	×	×	×	×
	3-3. 地形からわかる地球の変動	発展的	△	○	△	△	○
	3-4. 埼玉の地質	範囲外	×	×	×	×	×
	3-5. 地質模型と地質図	範囲外	×	発展	発展	×	×
	3-6. 地球カレンダー	適合	◎	○	○	◎	○
	3-7. 脊椎動物の進化	発展的	×	一部○	一部○	×	一部○
	3-8. 演示 これだけは見せたい化石	適合	◎(アンモナイト)	◎(フズリナ)	◎(アンモナイト)	◎(アンモナイト)	○
大気海洋	4-1. 大気圏の構造	適合	○	◎	○	○	○
	4-2. 露点と湿度	適合	×	○	○	○	○
	4-3. フェーン現象	発展的	△	×	発展	×	×
	4-4. 太陽放射の測定	適合	◎	◎	◎	○	◎
	4-5. 気温の変動	適合	○	○	○	○	○
	4-6. 演示 大気圧を実感する	適合	○	○	○	○	○
	4-7. 演示 雲の発生	適合	○	○	○	○	○
	4-8. 演示 風のできる仕組み	範囲外	×	×	×	×	×
	4-9. 演示 フーコーの振り子	発展的	×	発展	発展	発展	発展
天文	5-1. 太陽系天体の大きさと広がり	適合	◎	◎	○	○	○
	5-2. 惑星の特徴	適合	○	○	○	○	○
	5-3. 宇宙や地球を作る元素	適合	○・発展	◎	○・発展	○・発展	◎
	5-4. 惑星軌道の決定	範囲外	×	発展	×	×	発展
	5-5. 恒星の分類	発展的	発展	発展	発展	発展	発展
	5-6. 膨張する宇宙	適合	◎一部発展	◎	◎一部発展	◎一部発展	発展
	5-7. 演示 スペクトルの観察	適合	◎	○	◎	◎	◎
	5-8. 演示 恒星の色と明るさ	発展的	×	発展	発展	発展	発展

◎ : 探求・実習等と同じ内容が掲載      発展: 発展で扱う・ふれる  
 ○ : 関連する内容を本文で詳しく扱う  
 △ : 関連する用語を本文や図でふれる